

緑の相談所だより

No.127

財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑の相談所
〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 ☎ 0166-65-5553

発行：平成 22 年 12 月 1 日

講習会のご案内

「クリスマスからお正月の寄せ植え」-実習-

とき 平成 22 年 12 月 5 日(日)
午後 1:30~3:30 定員 20 名
講師 フラワーマスター 山本 裕美さん
教材費 2,000 円

「果樹の剪定と春の管理」-リンゴ、プラム、サクランボ他

とき 平成 23 年 2 月 20 日(日)
午後 1:30~3:30 定員 50 名
講師 ふじくらますも果樹園
代表 増茂 聡さん

「洋ラン！春から夏の育て方」

とき 平成 23 年 2 月 27 日(日)
午後 1:30~3:30 定員 50 名
講師 旭川蘭友会
顧問 笠原 幸三さん

～ 年末年始のお知らせ ～

12 月 30 日(木)~1 月 4 日(火) まで
緑の相談所は休館させていただきます。
新年 1 月 5 日(水) より、通常どおり
開館いたします。



展示会のご案内

「神楽岡公園のイゾリス写真展」

出展：井原 久夫さん
1 月 8 日~30 日



「神楽岡公園の動物写真展」(予定)

出展：井原 久夫さん
2 月 5 日~27 日

展示会の初日は準備のため、ご観覧は午後からです。

4 月~10 月は第 2・第 4 月曜日が休館日です。

11 月~3 月は毎週月曜日が休館日です。(祝日の場合は翌日)

※各講習会のお申込み受付は前月の 20 日から、定員になり次第締切です。

お申込み・お問合せは



(0166)65-5553



12月の園芸作業

1 鉢花・観葉植物

- ・シクラメンは日光が良くあたる場所に置き、昼間は15～18℃、夜間は8～10℃に置き、液肥（1,000倍程度を10日に1回）を与えましょう。また、花立ちを良くするために新しく出た芽は随時株の中心から放射線状に下げて行く「葉組み」をしましょう。
- ・ポインセチアの生育適温は18～28℃で、8℃以下ではほぼ停止してしまいます。日当たりの良い場所に置き開花株には肥料を与えません。
- ・クンシランは花茎の上りを良くするために10℃程度の低温で水をやらずに管理します。花茎が伸びてきたら20℃前後の部屋に置き、水を与えましょう。
- ・アザレアは10～15℃の場所で育て、40～50日で開花します。開花株はやや寒い部屋の窓辺に置き、鉢土が乾いたらたっぷり水やりをしましょう。また、開花後は寒い部屋にもどして下さい。
- ・観葉植物の殆どが暖房による空気の乾燥を嫌うのでこまめに霧吹きするか葉面を濡れた布で拭きましょう。また、低温で落葉することもあるので15℃以上で育て、肥料を与えません。
- ・クジャクサボテンは水やりを中止し、無暖房の室内で夜間凍らない程度の場所で休眠させ、夜間照明する部屋には置かないようにしましょう。
- ・サンセベリアは最低7～8℃まで下がる室内では水やりは中止しましょう。過湿になると根腐れ症状で枯死することがあります。

2 洋ラン類

- ・シンビジウムの花茎が伸長し始めた鉢は、日中当たりの良い場所で温度は10～15℃を保ち、乾燥気味に育てましょう。発生している幼芽は残します。
- ・デンドロビウム・ノビル系は花芽分化の始まる大切な時期ですので日中20℃以下、夜間も7～10℃で管理し、水は控えめに与えましょう。
- ・コチョウランは10℃以下では生育を休止します。最低気温が18℃以上保ち、水は乾いたら与えましょう。
- ・カトレアの冬咲き系はシースの中に蓄ふくらむ時期です。支柱を立てて花茎を固定し、水は花芽の成長に応じて乾いたら与えましょう。この時期は肥料を吸収しないので与えません。

1月の園芸作業

1 鉢花・観葉植物

- ・今年のガーデニング計画を立てましょう。月めくりの余白のあるカレンダーを用意し、各月の園芸作業を書き込んでみましょう。
- ・観葉植物は低温を嫌うので置き場所に注意し、乾かし気味に管理しましょう。
- ・シクラメンは花や葉が傷んできたら花茎を捻ってから抜くと芽を傷めません。
- ・アマリリスが休眠から覚め、芽が出てきた場合は20℃前後の部屋に移して、水やりを行いましょう。
- ・ハイビスカスは雪降り等のため、光線不足で花つきが悪い時期です。伸び過ぎている場合は切り戻して側枝を出しましょう。
- ・シャコバサボテンの花が咲き終わった株は最低5℃位の明るい部屋で、乾燥気味に管理しましょう。
- ・正月に鑑賞されたハナウメの盆栽は花が終わると芽が出ないうちに戸外に出し、土の上に置いて枝が折れないように囲いをして雪で埋め戻しましょう。
- ・アデニウム(砂漠のばら)やクラッスラ属(カネノナルキ)アロエ(千代田錦)等は窓辺で日光に十分当てて水やりを控えましょう。

2 洋ラン類

- ・シンビジウムの開花中の鉢は10～20℃で管理をし、肥料は与えず、花芽が伸びるにつれて水分が必要となることから鉢が乾いたら水やりを行いましょう。
- ・デンドロビウム・ノビル系は花芽が確認できるまで、12月同様に低温で管理しましょう。
- ・コチョウランは冷え込みが厳しくなる時期です。夜間最低温度を18～20℃に確保し、水ゴケの表面が乾いてきたら株元に水やりをし、またパットに水を入れタオルを敷いてその上に鉢を置く等の湿度対策も行いましょう。
- ・カトレアの開花中の鉢は温度13～23℃を保ち、水やりは鉢の中がわずかに湿っている状態にします。開花には高い湿度と日光が必要です。
- ・ラン類すべてに毎日午前中にシリンジ（霧）をしましょう。（12月も同じ）

イチョウ（銀杏・公孫樹・鴨脚）

イチョウ科イチョウ属

生きている化石といわれる古世代生まれの一属一種の木。雌雄異株で雌株に実がつきます。

中国原産の落葉高木で、日本には元禄時代観音像の渡来と共に僧侶によって運ばれて来たといわれています。

古くから神社仏閣などに植えられ、大木になるのみでなく樹齢も長く保つため天然記念物として保護されているものが多い。またイチョウは防火樹としても知られており、神社仏閣を火災の延焼から守るため植えられたともいわれています。

公孫樹の字を当てているのは、祖父の代に植えても実がなるのは孫の代になってから稔るからだといわれています。

種子は球形で黄色く熟します。皮には悪臭がありかぶれることがあります。

実は銀杏といって殻を割って茶碗蒸しや中華料理などに用いられます。

材はやわらかいが質が緻密で細工しやすく、将棋の駒・将棋版・彫刻材として利用され、特にイチョウ材のまな板は高級とされています。



緑の相談 QアンドA (2)

シクラメンを長く楽しむには、どのような環境で育てたら良いでしょうか。

シクラメンは冷涼な気候を好む植物で、花の少ない年末から春にかけて咲く貴重な鉢花です。

置き場所～日照不足は、日持ちを悪くします。日当たりの良い窓辺に置きましょう。

葉の下に隠れた蕾が、日光不足で咲く前に枯れることもあります。鉢の中心部に日光を充分当てるため、強制的に葉を外側に広げる「葉組み」も行いましょう。

温度 ～日中 18℃、夜間は8～10℃くらいで管理します。日中 23℃以上の高温管理になると生理障害を起こしやすくなります。日中の温度が低いとゆっくり成長し花も長持ちします。

水 ～開花中の要求量は多いので、水切れに注意します。シオレが見えてからでは遅過ぎです。灌水は、花や葉にかけると腐敗の原因となるので、葉を手でよけて鉢縁から与える様にしましょう。

肥料 ～肥料が不足すると花上がりが少なくなります。7～10日に一回くらい液肥(1,000倍)を与えましょう。

花がら摘み～咲き終わった花は、花茎の根元から摘み取ります。根元を軽くねじるように引っ張り茎を残さないようにします。残すと腐敗の原因となります。黄色くなった葉も同様に取り除きましょう。

※ 底面給水鉢は花後、普通鉢に植え替えを行いましょう。

葉組み後
真ん中を開き
日光を入れる



葉組み前
葉が茂っていて
日光が入らない

アザレアの管理

アザレアは暖地性のツツジをヨーロッパで鉢植え用に改良した園芸品種で、赤、ピンク、白などの花色や、絞り、覆輪などの変化咲き、一重、半八重などさまざまな花形を楽しむことができます。花は11月から4月中旬まで咲かすことができます。

置き場所は窓辺の明るいところに置き、日中20度、夜間7～8度くらいの低温で育てると長く楽しめます。

水やりは、開花中の株は水を多く必要とするので、鉢土の表面が乾いたら午前中にたっぷり与えます。

花が終わった株は4月まで、新しい枝を伸ばさないよう低温下で管理し、毎年1回4月下旬～5月上旬ごろ株全体が傘形になるよう切り戻し、整枝します。

植え替えは花後の切り戻しと同じ頃、鹿沼土7、ピートモス3で行います。根鉢を2分の1ほど崩し、伸びすぎた根や、だめになった根は取除きます。植え替え後は十分に水をやり、1週間くらい直射日光をさけて養生します。

肥料は5月上旬～7月下旬までは、7日に1回の液肥と月に1回の置き肥を併用します。開花中は与えません。



展示室の植物 (34)

トックリヤシ

ヤシ科 トックリヤシ属

原産地はインド洋のマスカリーン諸島。幹の基部は大きく膨らむが、上方に向かって急にフラスコのように細くなり、幹の高さは約4m、最大径40～60cmで、一定の高さになると径約25cmになります。幹の表面は滑らかで淡い灰褐色を呈し、浅い環状の葉痕があります。



トックリのような膨らみがあるため、トックリヤシとよばれ観葉植物として人気種です。

別の種類のトックリラン（リュウゼツラン科トックリラン属）と混同されてしまうことがあります。